

## 竹馬の友の著書「生命の確認」が出版される

4月に文芸社から、小、中、高校と同級・同窓の故郷の竹馬の友の著書「生命の確認～釈迦仏陀は何に目覚めたのか。仏教を読み解く～」が出版されるようで、一足早く送付いただきました。

帯表紙には「仏の教えの意味するところは、『生命』を基本とした自己確立の勧め。」と案内されている。

自分が大学時代や就職してからも帰郷の折は会う仲の友だが、故郷で農業の傍ら40数年間も、「歎異抄」、「正法眼蔵」、「般若心経」などの難解な仏典の解説に挑んでいること、また、座禅の修行をしていること、また、今回の出版の準備をしていることなど、一言も聞いたことがなかったので、著書が届いた時は正直(@\_@)

何事にも厚かましく発信する自分に比べ、彼は何と慎ましいこと！

まあ、こうした正反対なところがあるだけに、半世紀近くもお付き合いいただいているのかもね(^\_^)

また、自分は「生命」の問題を問い続けて当HPでもしきりと関連する記事を発信しているが、彼の著書のタイトル：「生命の確認」を目にして、どこかで相通じるところがあったのかなと思うと、(^\_^;) )

さて、書の中で彼は自らのペンネーム？を「禿禺儒～とくぐじゅ（意味はぐずなハゲ頭）～」と称しているが、容貌から何となく納得、m(\_ \_)m

著書は「一市井の徒」として挑んだ労作だけに、彼なりに仏典の文節毎に、「原文」、「現代語訳」、「解説」と分けられ、編集に工夫が見られるが、如何せん浅学の我が身には、やはり仏教用語が多くて(?\_?)

4月には全国の書店に並ぶそうですので、もし店頭で目にした時は手にしてください。